

2024年度 宇治市地域自立支援協議会相談支援部会活動報告

1. 部会の目的

- 1) 宇治市との情報共有、相談支援専門員の研鑽。
- 2) 困難事例や業務上の悩みを気軽に話し合いながら、相談員が孤立しないように集える場所であることを大切に活動する。

2. 活動概要

- 1) 会議の開催：毎月第3木曜日 13時30分～15時30分
- 2) 参加対象者：宇治市内の相談支援事業所に所属する相談支援専門員
- 3) ケース検討と勉強会、事業所見学を年間計画に沿って実施。宇治市内で計画相談支援を必要とする方の事業所とのすり合わせ。

3. 主な参画団体

- ・指定特定相談支援事業所19ヶ所
- ・宇治市障害福祉課

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	4月18日	事業所視察担当決定、年間計画（案）について、事業所一覧の配布
2	5月16日	年間計画の確定、令和6年度報酬改定について、事業所視察について(GW)
3	6月20日	講演会：障害者の消費者トラブルについて 講師：宇治市消費生活センター 相良様、【GW】支援についての課題抽出
4	7月18日	年間計画の確認、令和6年度報酬改定についての質問への回答(事務局より)、【GW】課題に対する解決策の検討
5	8月22日	【GW】課題に対する解決策の検討と発表、事業所視察担当から進捗状況の報告
6	9月19日	講演会：障害者就業・生活支援センターとは 講師：障害者就業・生活支援センターはびねす 鎌田様
7	10月17日	事業所見学：社会福祉法人南山城学園「Cocoro 島本」「京都府地域生活定着支援センターふいっと」「障害者支援施設 輝・光、児童日中一時支援事業所ちえりー」
8	11月21日	【GW】利用者の住環境についての理想と現実
9	12月19日	講演会：地域移行支援・地域定着支援について 講師：相談支援事業所おうばく 谷口様・山崎様
10	1月16日	講演会：災害時支援について 講師：天ヶ瀬きぼうの家 守本様
11	2月20日	講演会 NPO法人京都マック
12	3月13日	今年度の振り返りと次年度に向けて

5. 現状と次年度以降への課題

昨年度から再開された事業所見学を通じて、南山城学園の3つの施設（「Cocoro 島本」、「京都府地域生活定着支援センターふいっと」、「障害者支援施設 輝・光、児童日中一時支援事業所ちえりー」）で、個別療育と集団療育、福祉支援を必要とする方々の矯正施設や支援現場を直接見学することにより、それぞれの施設がどのような支援を実践しているか、また、その課題や工夫について具体的に理解を深めることができました。

また、相談支援事業に関する知識を深めるための講演や、相談支援員同士のグループワークを通じて、相談支援業務の課題を共有し、解決策を話し合うことで、支援員間の横のつながりが強化され、気軽に相談できる環境が整いつつあると実感しています。このような協力関係は、相談支援業務を行う上で非常に重要であり、今後さらに発展させていくことが求められます。このような活動を通じて得た知見やネットワークは、地域社会や福祉支援における質の向上に貢献できると考えています。

相談支援業務の今後の課題と解決策(案)として、大きく分けて下記の4点が挙げられます。

1. 資源の不足

【解決策(案)】

調査と訴え：当事者の声を議会で発表し、具体的なニーズを伝える。

情報提供の強化：市からの事業所情報や資源情報を増やす。

情報共有の促進：自立支援協議会などを通じて、必要な情報を広く共有する。

2. 家族関係

【解決策(案)】

本人と家族の意見の違いを理解し、要望に優先順位をつける。

インフォーマルサービスの利用を促進し、サービスの選択肢を広げる。

3. 制度の改善

【解決策(案)】

高校生の通学に関する制度の見直しや、通院・通所の支援を強化する。

乳幼児の医療ケア児に対する支援体制を整える。

ゴミ出しなどの特例を設け、サービス利用のハードルを下げる。

ヘルパーの支援をボランティアで補完し、必要なサービスを確保する。

過去の要望書提出の成功事例を参考に、制度改善を目指す。

4. 相談業務の連携

【改善策(案)】

ズームや電話でのモニタリングを導入し、対面の負担を軽減。

本人と一緒に目標を考え、具体的なステップを設定。

相談員の業務内容を伝えるパンフレットを作成する。